

## ■弥彦のまちづくりについて

弥彦駅前にあった旧観光ホテルの跡地は足湯付きの広場にきれいに整備された。この他に、歩道の整備や神社前通りの電柱地中化、石畳についても取り組んでいくために、現在県と調整している。時間はかかるが少しずつ進めていきたい。

(住民より) 駅前はきれいに整備されたが、その手前の交差点が狭くて道が混雑する。渋滞対策にも取り組んでほしい。弥彦は桜、つつじ、菊まつりの時は賑やかだが、それから寂しくなってしまう。

(村長) 様々な取り組みを行うにはどうしてもお金が必要になってしまう。しっかり考えて取り組みたい。

## ■競輪・ふるさと納税について

競輪事業は現在全く問題なく運営されている。ふるさと納税について、伊彌彦米が途中でなくなったため、

平成29年度は4億3千万円で終わったが、米さえあれば5億は行ったかもしれない。各自治体で大切な収入源であるふるさと納税は、不況になった時にいつまで続くか分からない。

## ■健康寿命について

運動して健康な状態を保っていただきたい。それがご自身にとっても良いし、巡って村の財政にとってもありがたい。今は100歳になった人に10万円のお祝い金を渡している。ぜひ目指していただきたい。

(住民) 昔、近所の方が100歳になった時は村から100万円もらったようだが。

(村長) 津南町では、4~5年前にお祝い金制度をやめたと聞いている。理由は100歳以上の方が大勢いるから。弥彦村の100歳以上は10人前後で推移している。

8月の作業  
7月下旬から猛暑が続き、稲作への影響がどうだったのか、今月は1周回ってサンファーム大戸に再び取材しました。  
「ゴシヒカリの育成においても、7月下旬からの猛暑の影響は気になりますが、田んぼの状況を確認して時々水を入れながら、田んぼが乾きすぎないように注意していました。」とのこと。いや、ちょっと心配ですね。  
8月の作業は水の管理のほか、病害虫防除、草刈りなどが行われました。「こしいぶき」などの早生品種の田んぼでは、穂が実り、収穫が近づいているのを感じます。  
来月はいよいよ収穫の時を迎えます。(次号に続く)

伊彌彦米  
ができるまで



▲ラジコンヘリによる病害虫防除



▲田んぼの様子を見て水の管理